

## 平成 27 年度 教育研究活動自己点検・評価報告に対する学長の見解

例年のことではあるが、自己評価の基準にばらつきがあるが、この点は容認せざるをえないと考える。各教員が時系列での改善が出来ているかの振り返りに期待する。

本学は平成27年度財団法人 日本高等教育評価機構に依る認証評価を受審し、「同評価機構が定める大学評価基準を満たしている」との判定で認定されたことは喜ばしい。

ただ新設校としてはじめての受審であり教職員には大変な負荷があったことも事実である。

その環境下で、教育活動では教員が授業運営において各学生目線にたち、面倒見のよい取り組みをしていることは喜ばしい。

また、大学運営活動でも委員会活動中心に精力的に活動した教員が多くみられ頼もしい。

教育活動、大学運営活動で物理的に大変な中、個人差はあるものの社会貢献活動を活発に行っている教員も多数いることは頭が下がる思いである。

その裏返しとして研究活動では、一部の教員が競争的資金の獲得のもと世界的な研究を行っているが、全般的には低調と言わざるを得ない。特に若手教員養成の観点からも学術論文、また学会における研究発表活動に期待する。そのことが本学そして大学院の将来に貢献すると思慮する。

以上

平成 28 年 5 月

大阪保健医療大学  
学長 福田益和